

環境政策 環境にやさしい循環型社会が営まれるまちをめざす

【環境政策の目標】〔総合的目標〕

環境負荷の低減につながる3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取組を基本として、天然資源の消費を抑制し、排出された廃棄物の適正な処理を進めるとともに、資源化などの先進的な環境技術の導入やごみの発生・排出抑制につながる市民、事業者、市の各主体の環境配慮行動を促すことで、都市の利便性や活気を保ちつつ、環境にできる限り負荷をかけない循環型社会の実現をめざします。

環境要素		環境要素の目標
資源・廃棄物		環境負荷の低減につながる3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取組を基本として、天然資源の消費が抑制され、排出された廃棄物の適正な処理が進められていること
環境項目	環境項目の目標	指標
資源・廃棄物	環境負荷の低減につながる3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取組を基本として、天然資源の消費が抑制され、排出された廃棄物の適正な処理が進められていること	<input type="checkbox"/> ごみ焼却量 <input type="checkbox"/> 市民一人一日当たりのごみ排出量 <input type="checkbox"/> 資源化量 <input type="checkbox"/> 産業廃棄物排出量 <input type="checkbox"/> 産業廃棄物再生利用率

総合的な評価に用いる指標

施策の方向	指標	総合的な評価に用いるもの
Ⅱ-1 一般廃棄物対策の推進	ごみ焼却量	○
	市民一人一日当たりのごみ排出量	○
	資源化量	○
Ⅱ-2 産業廃棄物対策等の推進	産業廃棄物排出量	○
	産業廃棄物再生利用率	○
	産業廃棄物最終処分量	○

施策の方向 Ⅱ-1 一般廃棄物対策の推進

指標	目標・現状・指標がめざす方向
ごみ焼却量	【目標】2015年度までに37万トン（※） 【基準年度】420,517トン（2009年度） 【指標がめざす方向】少ないほうが良い
上記目標の達成に向けて、次の点に留意するものとする。	
市民一人一日当たりのごみ排出量	【目標】2015年度までに988g（※） 【基準年度】1,069g（2009年度） 【指標がめざす方向】少ないほうが良い
資源化率	【目標】2015年度までに資源化率35%（※） 【基準年度】23.5%（2009年度） 【指標がめざす方向】多いほうが良い

※ 「川崎市一般廃棄物処理基本計画（かわさきチャレンジ・3R）」の行動計画*に基づく目標数値

目標・指標の達成状況	指標評価	方向評価
■指標：ごみ焼却量 ・377,363トン（対前年度：15,563トン減少、対基準値：少ない）	3*	2
■指標：市民一人一日当たりのごみ排出量 ・1,006g（対前年度：15g減少、対基準値：少ない）	3*	
■指標：資源化率 ・資源化率29.0%（対前年度：2.3%増加、対基準値：少ない）	1*	

[方向評価は「*」の付いた指標評価の平均値をもとに評価しています]

現 状

2009（平成21）～2013（平成25）年度のごみ焼却量等の実績

年度	2003 基本計画 基準値※1	2009	2010	2011	2012	2013	
日数	366	365	365	366	365	365	
人口（人）※2	1,293,618	1,409,558	1,425,678	1,430,773	1,439,164	1,448,196	
焼却ごみ(t)	500,954	420,517	412,712	401,893	392,926	377,363	
内訳	家庭系 焼却ごみ	371,367	300,212	296,368	278,553	275,587	258,810
	普通ごみ	355,396	293,313	289,213	270,732	267,759	250,435
	粗大・小物金属 可燃分	15,971	6,899	7,155	7,821	7,828	8,375
	事業系 焼却ごみ	128,400	119,719	115,829	122,899	116,889	118,129
	道路清掃ごみ	1,187	586	515	441	450	424
資源化量(t)※3	118,223	129,351	128,664	144,685	143,054	154,299	
資源化率(%)	19.1%	23.5%	23.8%	26.5%	26.7%	29.0%	
内訳	粗大・小物金属 資源化分	7,313	3,732	3,785	4,004	3,938	3,814
	空き缶	8,306	7,420	7,327	7,312	7,304	7,859
	空きびん	11,859	10,930	10,969	11,577	11,653	11,921
	ペットボトル	2,485	4,655	4,872	5,167	5,103	5,168
	ミックスパー		1,172	1,865	10,618	10,662	13,306
	プラ製容器包装			269	3,896	3,811	9,008
	資源集団回収	51,237	47,474	46,684	48,260	47,875	47,999
	小型家電						2
	その他※4	669	433	425	402	369	395
事業系資源化物	36,354	53,535	52,468	53,449	52,339	54,827	
乾電池(t)	290	247	272	295	245	287	
総排出量(t)※5	619,467	550,115	541,648	546,873	536,225	531,949	
1人1日当たり ごみ排出量(g)※6	1,308	1,069	1,041	1,044	1,021	1,006	

※1 川崎市一般廃棄物処理基本計画（かわさきチャレンジ・3R）

※2 人口は、各年度10月1日現在の人口に基づきます。

※3 資源化量とは、資源集団回収（古紙・ダンボール等）、市分別収集（空き缶・空きびん・ペットボトル・小物金属・ミックスペーパー・プラスチック製容器包装、粗大ごみ）、事業系資源化物、その他を含めて算出したものです。

※4 その他とは、生ごみ資源化物、自主回収、古布及び廃蛍光灯の合計値です。

※5 総排出量＝焼却ごみ＋資源化量＋乾電池

※6 1人1日当たりごみ排出量とは、一般家庭（家庭系焼却ごみ・家庭系資源物）、事業者（事業系焼却ごみ・事業系資源物（事業活動に伴い出される資源物））、その他（道路清掃ごみ）の合計を人口及び年間日数（うるう年の場合は366日）で除したものです。

■ごみ焼却量

市内の一般廃棄物の排出量は、ごみ非常事態宣言を行った1990年度をピークに減少し、2013年度の市内総焼却量は、377,363トンで、前年度に比べて15,563トン、4.0%の減少となりました。

その内訳を見ると、家庭系ごみは258,810トンで、前年度に比べて6.1%減少し、事業系ごみは118,129トンで、前年度に比べて1.1%増加しました。

■市民一人一日当たりのごみ排出量

2013年度の事業系ごみを含めた市民一人一日当たりの一般廃棄物排出量は1,006gで、前年度の1,021gに比べて1.5%減少しました。

■資源化量

2013年度の一般廃棄物の総排出量は531,949トンでした。これらのうち154,299トンは、資源集団回収（古紙・段ボール等）、市分別収集（空き缶、空きびん、ペットボトル、小物金属、ミックスペーパー、プラスチック製容器包装、粗大ごみ）、事業系資源物（梱包材・段ボール等）、その他（生ごみリサイクル）の資源化量として算出しています。377,363トンは処理センターで焼却処理し、残灰（保管分を除く）は浮島2期埋立地*に埋立処分しています。